

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018 年 1 月 4 日作成

<p>研究課題名</p>	<p>乳腺アポクリン癌に関する多施設共同症例対照研究</p>
<p>研究の対象</p>	<p>2000 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに病理学的検査でアポクリン癌と診断された方</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>目的：乳がん特殊型であるアポクリン癌は全体の 0.4-4%と稀であり、病態の特徴についての統一した見解がありません。多施設においてアポクリン癌の臨床病理学的因子を後ろ向きに集積・解析し、臨床病理学的特徴や予後因子を明らかにすることを目的としています。</p> <p>方法：診療録（カルテ）から収集しうる臨床病理学的因子に関する情報を集積し、無病再発期間・臨床病理学的特徴・治療方法等について解析します。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2018 年 2 月 8 日(承認日) ～ 西暦 2018 年 11 月 7 日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報の 種類</p>	<p>通常診療において得られた既存の試料・情報を収集する。 腫瘍の特徴、治療の実態、予後、Pure Apocrine Cancer（PAC：真のアポクリン癌）と非 PAC による予後の差 等</p>
<p>外部への 試料・情報の 提供</p>	<p>上記研究に用いる試料・情報の種類の項にある内容を主たる研究機関の横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科にパスワードをかけた電子データとして提供します。データ管理は横浜臨床腫瘍研究会（YCOG）にて行います。これらは研究終了について報告された日から 5 年間を経過した日又は当該研究の結果の公表について報告をした日から 3 年を経過したいずれか遅い日までの期間、特定の関係者以外がアクセスできない状態にし、研究責任者の責任の下で個人情報等について厳重に保管・管理します。</p> <p>主たる研究機関及びデータ管理者においても、上記と同様に管理・保管されます。</p>
<p>外部からの 試料・情報の 取得と保管</p>	<p>外部からの試料・情報の取得はありません。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表者： 横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 成井一隆</p> <p>研究参加施設： 横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科 菅江貞亨 横浜労災病院 乳腺外科 千島隆司 横浜市立みなと赤十字病院 乳腺外科 清水大輔</p>

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

	横浜市立市民病院 横須賀共済病院 済生会横浜市南部病院 藤沢市民病院 茅ヶ崎市立病院 横浜臨床腫瘍研究会（YCOG）データセンター 担当：織田 紀子	乳腺外科 鬼頭礼子 外科 太田郁子 乳腺外科 嶋田和博 外科 山本晋也 乳腺外科 山田顕光
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>		
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科・乳腺外科（研究責任者）菅江 貞享 電話番号：045-787-2800（代表）</p>		